

小児がん看護セミナー実施報告

小児がん看護セミナーの概要

目的	1.小児がん看護に必要な基本的知識・技能を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。 2.関東・甲信越ブロックにおける小児がん看護の連携を強化する。
対象	厚生労働大臣の指定する小児がん拠点病院または小児がん診療病院に所属する看護師、あるいは医療・福祉に関する資格(社会福祉士、特別支援学級教諭等の国家資格や臨床心理士等の認定資格)を有していること。
日時	①平成30年9月8日(土) 10:00~15:30 ②平成31年1月19日(土)
開催場所	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 講堂
受講者数	①55名 ②44名 計99名

小児がん看護セミナー①

(平成30年9月8日開催)

時間	内容
10:00～10:30	講義「小児がん対策、疫学、最新の動向」 国立成育医療研究センター 小児がんセンターセンター長 松本 公一
10:30～11:15	講義「小児がんの代表的疾患と治療 概論（固形腫瘍）」 講師：国立成育医療研究センター小児がんセンター腫瘍外科診療部長 菱木 知郎
11:15～12:00	講義「小児がんの代表的疾患と治療（血液腫瘍）」 講師：国立成育医療研究センター 小児がんセンター医師 大 隅 朋生
13:00～14:00	講義「小児がんにおける化学療法と症状マネジメント」 講師：国立成育医療研究センター がん化学療法看護認定看護師 高橋 彩
14:00～15:30	グループ討議（ワールドカフェ方式）・発表 「化学療法を受ける患者の看護について、自分の施設でも活用できること」

小児がん看護セミナー②

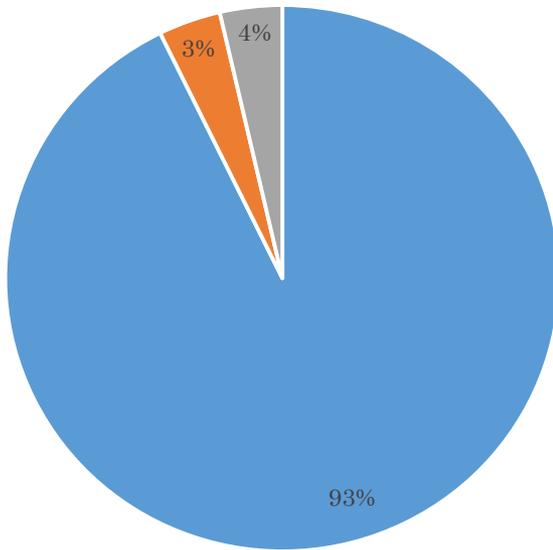
(平成31年1月19日開催)

時間	内容
10:00～10:20	グループ討議 自己紹介・日ごろの看護における現状や困難感について共有
10:20～11:20	講義① 「終末期の小児がん患者の緩和ケア」 国立成育医療研究センター がん緩和ケア科診療部長 余谷 暢之
11:30～12:30	講義② 「終末期の小児がん患者への看護」 国立成育医療研究センター 看護部 緩和ケア認定看護師 木須 彩
13:30～14:10	講義③ 「小児がん患者の晩期合併について」 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 医師 清谷 知賀子
14:20～15:00	講義④ 事例をもとに「小児がん患者の長期フォローアップについて」 国立成育医療研究センター 小児看護専門看護師 柴田 映子
15:00～15:30	グループ討議⑤ 今回の研修で学んだこと、活用できそうなことなど意見交換 国立成育医療研究センター 小児看護専門看護師 後藤 清香

受講者の職種

小児がん看護セミナー①

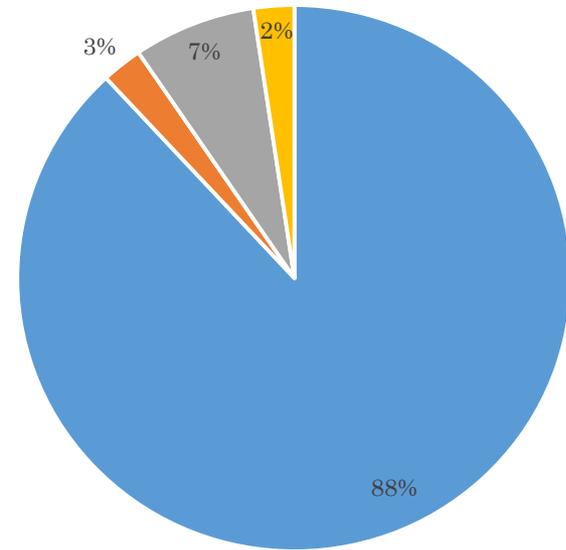
H30年9月8日 ①受講者職種



■ 看護師 ■ 保健師 ■ MSW

小児がん看護セミナー②

H31年1月19日 ②受講者職種

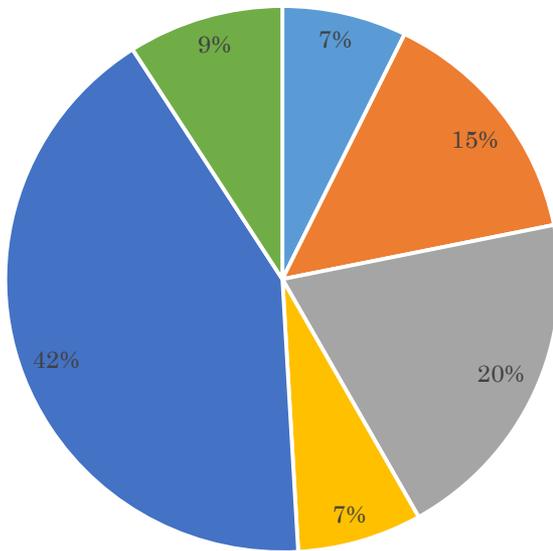


■ 看護師 ■ 保健師 ■ MSW ■ その他

受講者の経験年数

小児がん看護セミナー①

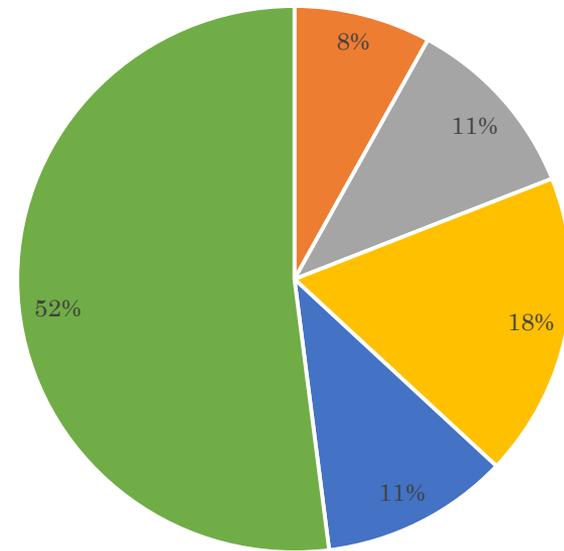
H30年9月8日 ①看護師経験年数



■ 1年未満 ■ 1年-2年 ■ 2年-3年 ■ 3年-4年 ■ 4年以上 ■ 無回答

小児がん看護セミナー②

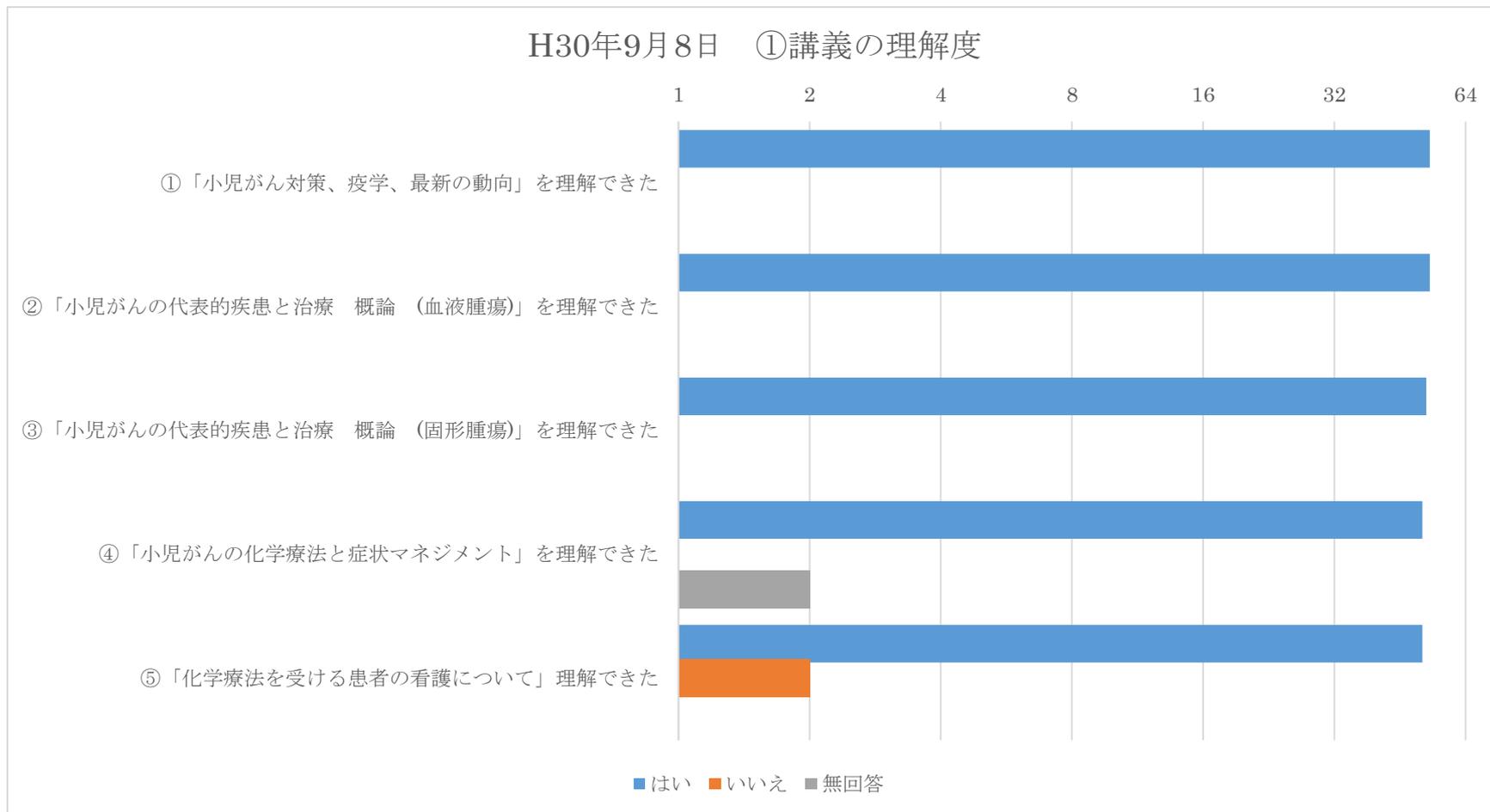
H31年1月19日 ②受講者経験年数



■ 1年未満 ■ 1-2年 ■ 2-3年 ■ 3-4年 ■ その他

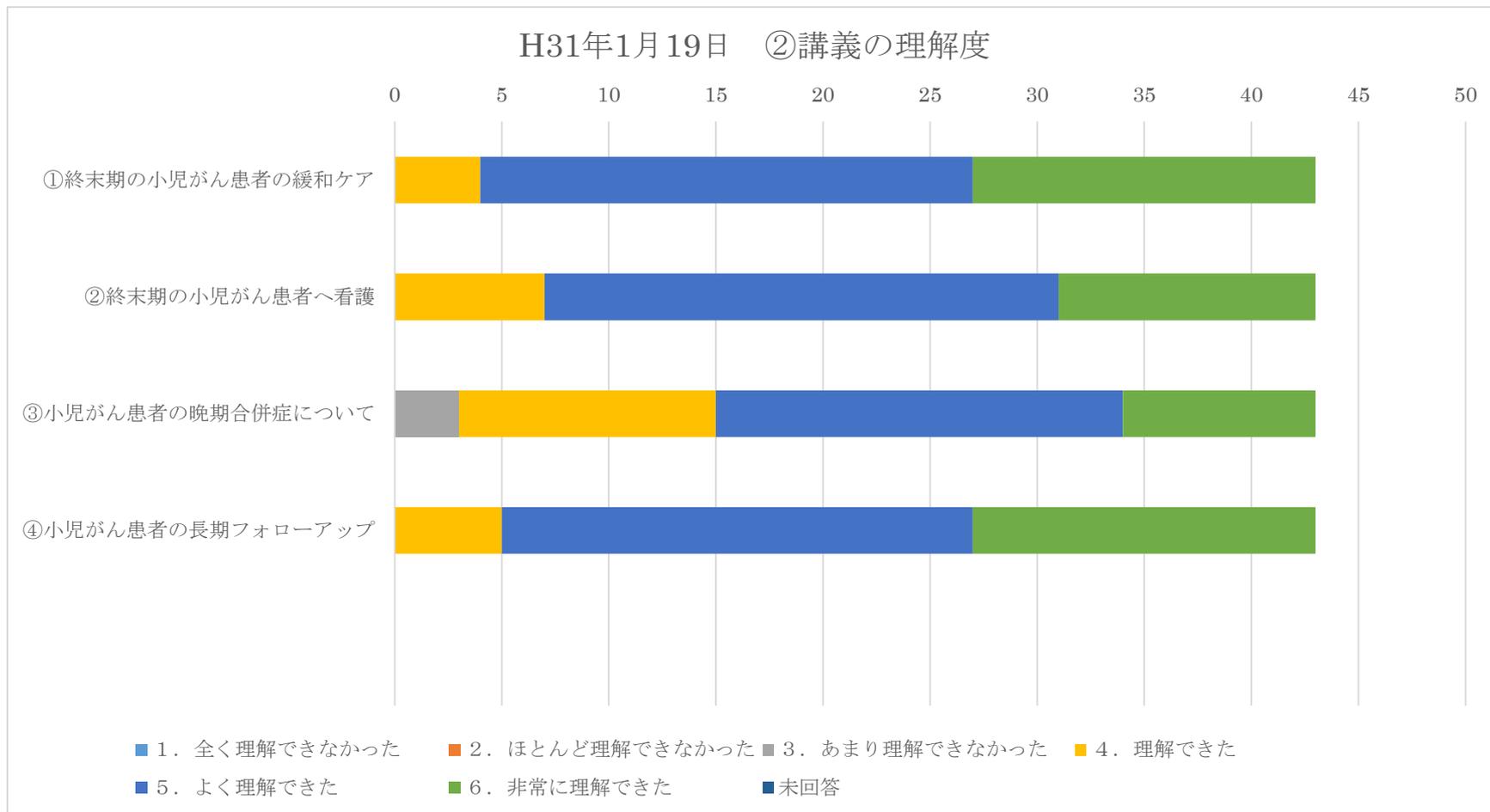
講義の評価（小児がん看護セミナー①）

n=53



講義の評価(小児がん看護セミナー②)

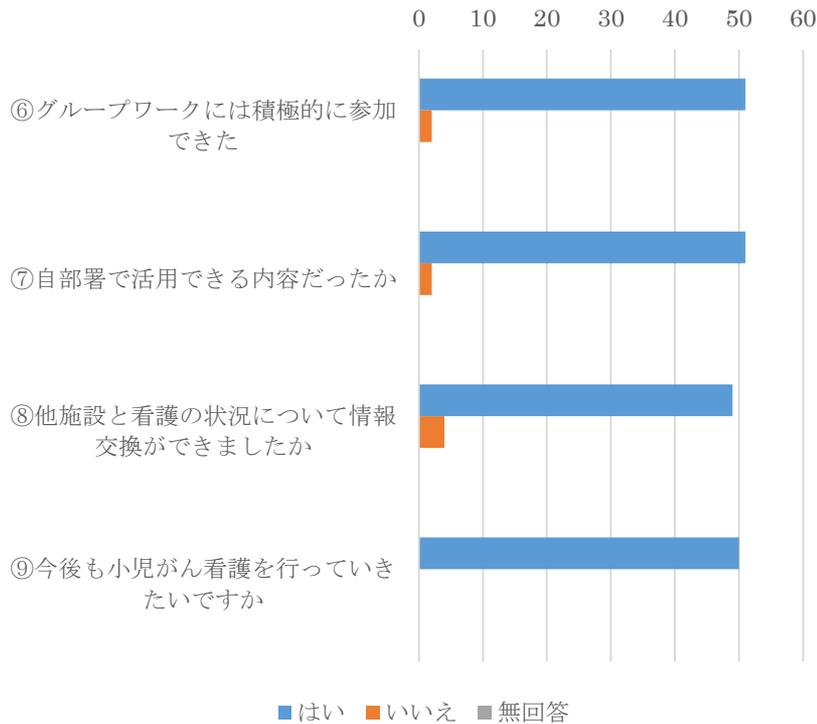
n=43



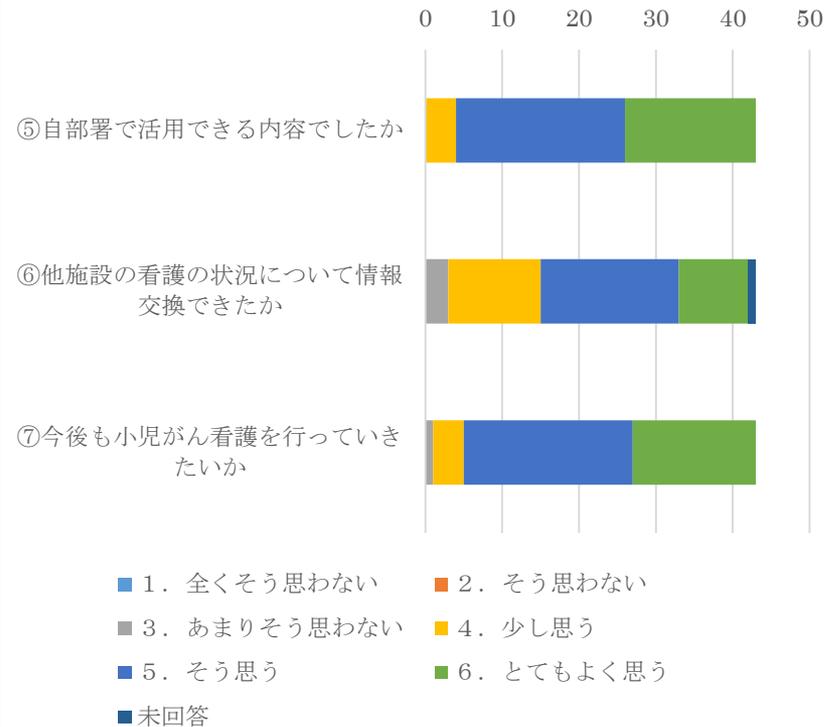
評価

•受講者は、小児がん看護セミナー①55名、②44名であった。
小児がん看護セミナー募集を①の時に2日間か1日と選択できるようにした。
セミナー②の募集が少なかったので受付締め切りを延長し人数を増やした。

H30年9月8日受講生の理解度n=53



H31年1月19日 ②研修の評価 n=43



- **講義のテーマについて**

小児がん経験3年目未満を対象として計画した。長期フォローアップなど経験が浅いが、アンケートで講義は「理解できた」と9割の人が答えていることから、基礎的な内容で、事例など用いた講義で分かりやすかったと考える。

対象者を3年目未満として、基礎的な知識を向上させていくだけでなく、経験年数を重ねた受講生も対象とした研修も企画していけるよう検討していく。